

あなたの  
笑った顔が  
好きだから

あらためてカメラの前に立つと  
どうしたらいいかとまどったりして。  
どんなふうに笑ってたかな どんなふうに座ってたかな  
ワタシって、どんなふうに映るのかしら。

きっと顔立ちとか、服装じゃない。  
今まで重ねてきた日々が、今そこにいるあなたをつくっているから

何も飾らなくていい  
「どうしたらいいかしら」って  
笑っているあなたも、素敵です。





廣田 圭子  
(ひろたけいこ)

リハケアタウン北館 センター長



山本 稜  
(やまもとりょう)

百年煌俱樂部 茶屋町 管理者



池田 克子様  
(いけだかつこ)

※ 16 ページにご登場です



尾上 ちとせ様  
(おのうえちとせ)

※ 14 ページにご登場です

# ぶれない人生観

強く明るく  
生きる  
人たち

# 柔軟だけど

皆さんの笑顔がとても素敵です



※施設内では、スタッフ、ご利用者様ともに常時マスクを着用しています。撮影時は一時的にマスクをはずしております。



いつも気を付けるって案外と難しいですが、コツコツとすることは大切ですよ。

ここに来る前に以前の骨折で眠れないくらいの痛みが。今はその痛みがなくなったの！有難いですよ。



れでいいことにしましょう(笑)

**廣田** いつも勉強する姿勢がすごいですね。池田さんの元気の秘訣はありますか？

**池田さん** なんも！ 時には嫌な事があつたりもするけど、私は聞き流しちゃう。それが元気のコツよ。負けるが勝ちもあるでしょう。だから感謝して流しちゃいます。

**廣田** 本当にいつも楽しくされてるから、私たちにも伝染してるんですよ！ 尾上さんは、少しの間でも運動されていますよね。

**尾上さん** ちょっと暇な時に運動したら退屈しないし、いいですよ。運動は大事ですよ。皆さん歩く事はされるけど、運動を考えていない人が多いんじゃないかと思えますよ。

**山本** 池田さんは嫌なことがあつてもそれより楽しい事や嬉しいを考えていた方が得じゃない？ って言われて、器が違ふなって思いました。

尾上さんも今年100歳を迎えられて、そのお祝いの時にスピーチをお願いしたんですが、それを計画的に考えられて、原稿用紙2枚400字をしっかりとご用意されて、これからどうしていくのか、過ごしていくのかといふのを教えていただきました。100歳

の要支援の方っていうことで、他のご利用者様のモデルとなっていたかっています。私は25歳なので皆様からたくさんのお話を学ばせていただいている、本当に感謝しています。

**廣田** 皆様、それぞれにいろいろ人生論があつて私も楽しいですし、感謝しています。ぜひ100歳まで元気でいられる方法を教えてください。

**尾上さん** そうね、皆さんのような若い人の中に入ると若々しくなるわよね、つて周りの人とお話をよくするのよ。若いというのは、自分になってみないと分からないですからね。

**廣田** そうなんです！ 嬉しいですよ！ 私たちスタッフでは伝えられないことってやっぱりあつて、その年齢を過ぎられたお二人のような方が70代、80代の方に語っていたけると刺激的かもしれないなと思っていました。

——多くの人生経験を積んだ方との会話は、私たちにとって奥が深く、学ぶべきことが多いですね。これからも元気で過ごしてください。またいろいろと教えていただけると嬉しいです。皆様、本日はありがとうございました！



——こんにちは。本日はお集まりいただき、ありがとうございます。今日は、社外報リニューアル一周年記念の社外報別冊【創心會ライブ】を発刊するという事で、ご利用者様とスタッフにいろいろとお話を聞かせていただきたいと思います。

**廣田** 事業所やスタッフの印象はどうですか？

**尾上さん** スタッフは満点！ 他に良い言い方がありませんかしら(笑) 一生懸命お世話をしてくださいます。私の周りの方も、ここへ来るのが楽しみって言ってますよ。

**池田さん** 私はストレス発散！(笑) ストレス発散は一人じゃやりにくいけど、皆でバアーとやるからストレス発散になっています。それと、尾上さんが元気でいつでもいてくれるから頑張れます。

**廣田** 池田さんはいくつですか？

**池田さん** ふふふ、91歳よ。

**尾上さん** 91？ 私は100歳よ。あなた若いわねえ(笑)

**池田さん** でしょう(笑) 今のところは自分で一通りはできてますよ。お裁縫とかいろいろ習ったけど、まだまだやれる元氣、氣力があるし。

**廣田** 池田さんはいつもイキイキして笑顔が素敵ですよ。尾上さんは創心會にきてどれくらいかしら？

**尾上さん** ここにきて9年かしら。最初も今も要支援。最初は元氣デザイン俱樂部だったわよね。その後、リハビリ俱樂部、そして今の百年煌俱樂部。

**山本** お元氣の秘訣はありますか？

**尾上さん** 運動、食事、睡眠、休養よね。気を付けて生活するって大事ですよ。食事って歳をとると量が少なくなるから、組み合わせを考えますね。これでは栄養が偏っているとかタンパク質が足りないとか。

**山本** すごい！ それは誰かに教えていただいたんですか？

**尾上さん** 以前私は、保健師だったからね、わかってるんですよ。

**廣田** 今でも新聞読んでるでしょう。すごいですよ。

**尾上さん** 新聞は毎日送迎前に家で読んでるの。新聞っていろんな事が書いてあるから面白いじゃないですか。ところがこの頃、目が悪くなってしまつて、網膜に静脈がきているんですけど、この静脈がつぶれちゃつたことで視野が狭くなつてしまつて。でもまあ一応読めるし、こ

撮影の時は、撮影スタッフがご提案したスタイルをすっと受け入れられ、自然にカメラに向かわれる姿勢に驚きました。多木さんの力まない姿勢は、周りの緊張にブレーキをかけてくれるような穏やかな空気がありました。社外報リニューアル第一号の表紙を飾っていただき、ありがとうございました。



季節に合わせたファッションがずっと好き



お花の師範免許をお持ちで、洋服も花柄が多いそうです。さすが素敵に着こなされていますね。

創心会 百年煌倶楽部 茶屋町  
多木 昌子さん  
Masako Ôki

創心会 百年煌倶楽部 岡南  
井上 由美子さん  
Yumiko Inoue



恥ずかしかったけど、家族が喜んでくれてよかった

「恥ずかしいと思ったけど、こんな機会はないので、やってみようと思ったの」とお気持ちを話された井上さん。小学校教師をした後、医局の事務を定年までされたそうです。やわらかな日差しに、素敵なグレイヘアが映え、品のある優しい表情が印象的でした。



ふんわり柔らかい雰囲気をもった井上さんに、軽やかなピンクの口紅がよく映えています。

創心会 百年煌倶楽部 茶屋町  
松浦 ミチ子さん  
Michiko Matsuura



「撮影では、ありのままを撮ってもらおうと思ったの」と、悪い気はしない、むしろ嬉しいと話された松浦さんは、繊維業に43年間お勤めされた働き者です。「グランドゴルフやパチンコが楽しみ、よく勝ってました。また勝ちたい」と明るい表情。気負いなく撮影に臨まれ、持ち前の素敵な笑顔で撮影現場を明るくしてくれました。

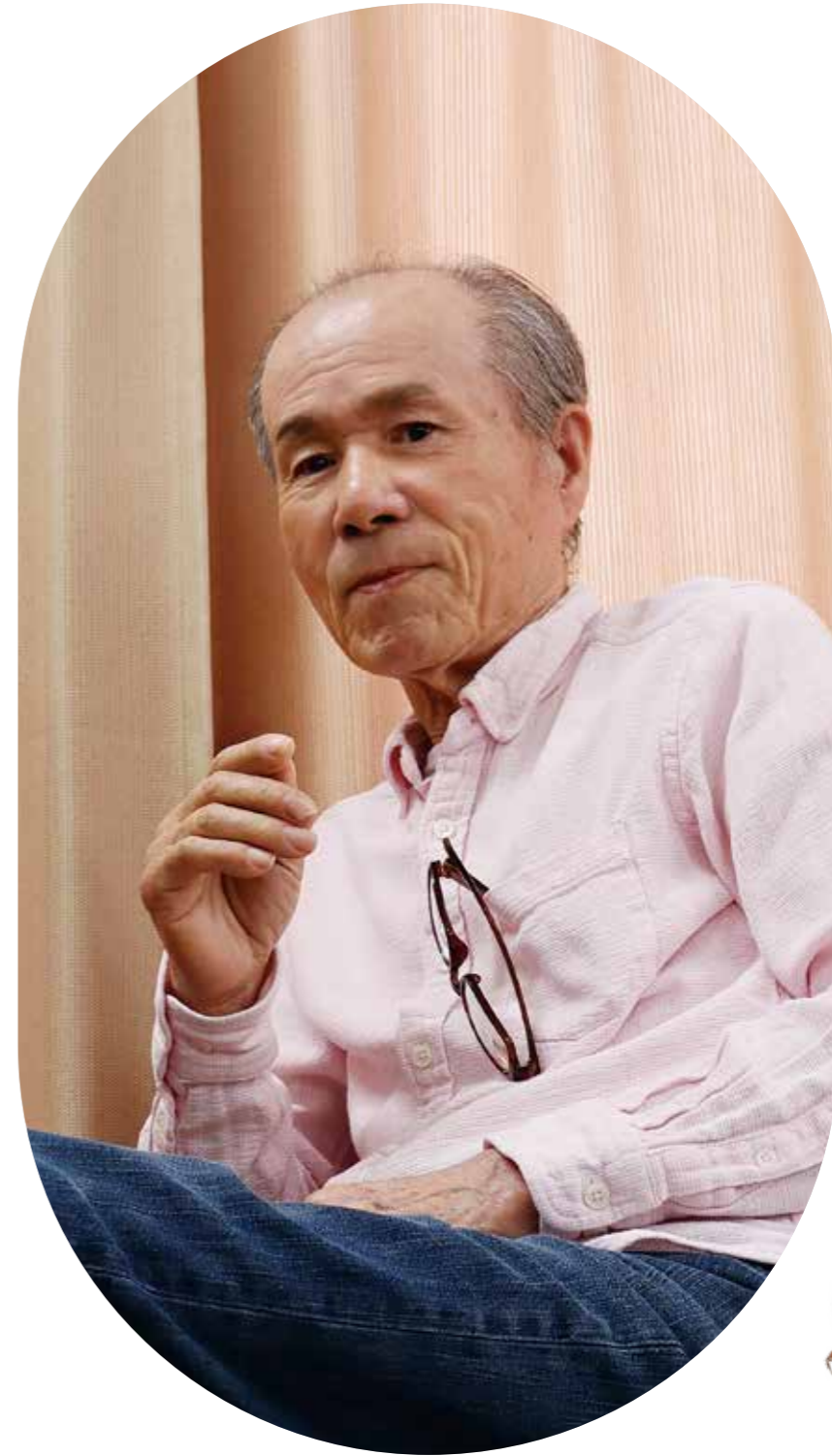
これからも好きなことを、ありのまままで

九州旅行、温泉に行きたいわと、心はもうサマーバカンス。ポーター柄シャツとポーズが決まっています。



創心福祉会 くらしき日和 平田  
大脇 義弘さん  
Yoshihiro Ôwaki

愛する息子のためにも  
頑張っって元気でいたい



教習所の教官を33年勤められ、趣味はゴルフやカラオケだった大脇さん。少し遠慮されつつも撮影後には「嬉しかった」と和やかに話されました。愛する息子さんに引き継ぐまでは、と未来への思いを描き、元気でいられるよう頑張られているそうです。終始、優しい微笑みで撮影に臨まれました。

春を感じ、清潔感のあるピンクのシャツとデニム。胸元のメガネは数あるコレクションの中からチョイス。読書がお好きだそうです。



モデルの依頼に「ええよ」と即答でした。手先が器用で日曜大工がご趣味だったそうです。担当リハビリスタッフも見守る中、少し暑い屋外での撮影に様々なポーズを笑顔で快諾。撮影後、自分の暮らしはいつも通りだけど、「この写真、ステキね!」と奥様や周りから予想以上の反響に照れ笑い。



最高の表情は喜ぶ妻を思い描いて



撮影に備えて散髪し、奥様がお見立てされたシャツは、近づく秋を捉えたお色。夫婦一丸で撮影に臨まれました。

創心会 リハビリ倶楽部 児島  
海本 穰さん  
Minoru Umimoto

創心会 百年煌倶楽部 茶屋町  
中村 昌子さん  
Masako Nakamura

「デイサービスでは、色々な人とのお話が楽しくて幸せです」以前は、生命保険会社で25年間勤務し定年。営業や新人指導もされていた中村さん。お仕事を通してたくさんの人々と接し「幸せな生き方」について誰よりも多く考えてきた方。そこには思いやり溢れる表情がありました。



キレイでいたい、自分を表現できる場所がある

90歳を超えても素晴らしいルックスを披露。撮影を歓迎し「良く撮ってもらった」と、さり気ない気遣いもカッコいいです。





長年、主婦業を頑張ってきた原田さんは、この度の撮影を振り返り「こんなことは中々ないので楽しんだ」と話され、親しいご友人も今回の写真を飾ってくれているそうです。これからもご友人との交流を長く楽しめよう、体力維持に頑張りたいと、穏やかな表情で瞳を輝かせていました。

いつまでも楽しみを持って、これからも

鮮やかな赤色のコート印象に負けない華やかな表情と、X'mas感ある素敵なトータルコーディネート。



まるで冬の木漏れ日の中で黄昏ているよう。黒皮のハンチング帽とトロンボーンがストーリー感抜群です。



自ら設立した工場には、今もデイサービスのない日に通い続けているという近藤さん。ご趣味のトロンボーンは音楽隊に所属して責任者を任されるほどの腕前。トロンボーンを持つ姿があまりに素敵だったので、そのままを写真に収めました。新型コロナの影響で中止となった演奏会に思いを馳せ、いち早い終息を願われていました。

創心会 リハビリ倶楽部 益野  
近藤 富志郎さん  
Tomishiro Kondo

撮影を振り返り「恥ずかしい気持ちもするけど、ありがたいと思った」と話された江草さん。手芸がお好きで、長年パッチワークを楽しまれてきました。写真を見た家族から「いい写真だね」と言われたそうです。これからも創心會に来られるように頑張る！と体力維持に励んでいます。



創心會 百年煌俱樂部 岡南  
江草 佐美江さん  
Samie Egusa

いくつものポーズにも終始笑顔。九十九髪が本当に素敵でした。メイクとマッチしたニットコーデが、暖かな冬を感じさせます。

これからもずっとココに来れる自分であるために

創心福祉会 百年煌俱樂部 平田

富岡 淳さん  
Jun Tomioka



身体のコンドイションを保つためトレーニングは欠かさないと語られた富岡さん。以前は営業職で東京にも赴任。仕事の付き合いで始めたゴルフは30年以上続く趣味に。撮影は「せっかくなのでやってみよう」と思われたそうです。いつまでも、何事にも積極的でありたい、と言われるだけあって、前向きな姿勢で撮影に臨まれました。

緊張もしたけれど、心穏やかにポーズ。着慣れたゴルフウェアは「いつもの私」であるために。若々しい富岡さんにとっても似合っています。

支えてくれた方々に感謝を伝えたい

創心会 百年煌倶楽部 茶屋町

藤井 洋子さん

Yôko Fujii

スタッフに撮影を勧められた時、「おしやれや化粧をすると聞いて参加したいと思った」という藤井さん。製  
業で40年以上勤務し、定年後はお好み焼き屋を営まれました。今は複数のデイサービスに通いながら健康に暮  
せるよう頑張っています。寂しさや不安を払えるほど、デイサービスでの交流が楽しみなのだそうです。



帽子がお好きで、沢山お持ちの中からのチョイス。人との出会いが楽し  
みと、そのやわらかな表情に表れて  
います。



お気に入りの帽子で全身コーディネート

リハビリ中の僅かな隙間で、様々な表情をつくってくださいました。モデル経験あり?と思うほど堂々とされていました。



周囲の反応が嬉しい  
現状に満足せず頑張る



現在、卓球講師をされ、講座を開いて子どもたちを指導をされている荒木さん。写真を見た妻からは驚きと喜び  
の反応で、ケアマネジャーや他の利用者からも大きな反響があったそう。「恥ずかしさはあったが嬉しさもあり  
ました。これを機にもっと頑張りたい」と語られました。

創心会 元気デザイン倶楽部 総社

荒木 佐登生さん

Satoo Araki



# 尾上 ちとせさん

Chitose Onoue

県庁の保健師として、看護・栄養に関する専門知識を日々勉強され訪問活動に従事。撮影後も長寿の秘訣や人生観を熱く語っていただきました。100歳を超えても、挑戦し、将来の自分を想像し続ける力は尾上さんの特筆すべき才能のように思います。



常に未来を考え、今できることを精一杯頑張る



壁にもたれることなく、背筋が伸びた素晴らしい姿勢は日頃の心掛けそのもの。

万里の道も一歩からの如く、努力を続けた100年間。その若々しさは花柄のシャツに身を包むエルフのようです。



ご自宅で花屋を営んでいた新谷さん。「お化粧は久しぶり」と、春の陽気を穏やかに眺めるその表情はもう「その気」になっていました。後日、「前よりも明るくなったと思います。やってみてよかった」と。さらに写真を見て喜ぶ家族の反応から、これからは何にでも挑戦していきたいそうです。



家族が喜んでくれた。何でも挑戦していきたい



恥ずかしがられつつも自然な表情。黄色のニットにグリーンのコサージュとカーディガンの組み合わせがお似合いです。

創心福祉会 百年焔倶楽部 平田  
新谷 泰子さん  
Yasuko Niiya

池田 克子さん  
Katsuko Ikeda



いつも洋服やアクセサリがかわいらしい池田さんをスタッフはモデルに猛ブッシュ。「年なのであまり撮られたくない。でも若い頃は写真は好きだった」と話されていましたが、撮影後には「楽しかった」と聞いて安堵しました。素敵な笑顔で撮影現場は終始明るい時間に。ご家族様からは「祖母の素敵な写真が見られて感激」とお声をいただきました。

あの頃の私程ではなくても

モデルに挑戦し、ポーズを楽しもうとされている姿がとてもチャーミング。差し色の赤がよくお似合いです。



楽し恥ずかしの撮影  
色々なことに挑戦したい

落ち着いた色合いのフランネルシャツとベストの組み合わせ。不意に見せられるクシャッとした笑顔に和まされます。



撮影モデルの依頼に恥ずかしがりつつも、楽しそう。早くからご準備をして撮影に備えられていました。以前は、体操や運動がお好きだった黒瀬さん。今後は「何でもいいから、色々なことに挑戦したい」と、慣れない撮影にも積極的にご参加くださいました。バルコニーを眺めるその目に、内に秘めた思いが映されていました。

黒瀬 勝平さん  
Shohei Kurose



別冊 **PRIDE** *sign*

プライドデザイン 別冊 vol.1  
SOUSHINKAI GROUP  
issue special edition SOUSHINKAI LIFE

発行日:令和3年10月1日  
編集・発行:  
創心會グループ 広報CSR部  
〒710-1101 倉敷市茶屋町2102-14  
TEL:086-420-1500 (代表)  
FAX:086-428-0946  
<https://soushinkai-group.com/>

い、こ、う、。

今日も、生き生き。